

## めぐみ保育園(彦根市)

この会場では、子どもたちが日頃からよく散歩に出かけている犬上川をフィールドにしました。犬上川の川原には大小の石がごろごろしています。その石を生かしたプログラムをつくりました。

### 「石って、かわいいね」のプログラム

自分のお気に入りの石を見つけたり、友だちと石を交換したり、川原にある石や流木などの特長を生かして、人の顔や動物など何かに見立ててその形を作る遊び（見立て遊び）をしました。石の形・大きさ・感触や色の違いなどひとつ一つの石にはそれぞれの表情があることに気づくプログラムができました。

川原で日に当たっている石のイスってあったかいなっ！



石の椅子に座って話を聞きました。



この石は何に似てるかな？

子ども「この石は鼻みたいな形や」  
先生「じゃあ、顔が作れるかな？」

カブトムシができたよ！



子どもたちは、石を比べたり、たたいたり、こすり合わせたりしていましたね。こうしたことを通じて石の形、重さ、感触、固さ、接触するときの音等を体感し、石の性質を捉えていきます。(講師：環境レイカーズ 島川さん)

### 「川の大工さん」のプログラム

川原にある石を使って、川の中にダムや魚の住みかを作り、作ったダムの上を歩いたりすることで、水の流れ方や動き方の変化に気づくプログラムができました。



グラグラして怖いけどおもしろいよ！

川の中に並べた石の上を渡るバランス遊び

大きな石は、転がして運んだらぼくにも運べるよ！

ダムや魚の住みかづくり



魚が入ってくる道を作ろう。どの向きが良いかな...

水の流れ方や動き方の変化に気づかせるために、葉っぱなどを流してみるのも一つの方法です。また、「ダムをつくった時、川の流れの速さや流れ方はどうなったかな？」などの声かけも有効です。さらに発展させて、人間にとってのダムの役割を考えることにつなげることもできます。(講師：環境レイカーズ 島川さん)

## 突撃！となりのヒミツ部屋

川原にある大きな石や流木で「秘密基地」をつくることを子どもたちに体験してほしいという思いからこのプログラムができました。みんなで自然にあるものを使って一つのものをつくる喜びや達成感を得ることを通じて、自然に親しみ、自然を大切にする気持ちを育みます。

みんなで力を合わせて家づくり



トントン  
入っていい  
ですか？

ここに玄関を作  
ろう。重いなあ、  
ヨイショット！



まだ  
ダメです。

花壇も作ろう。

先生たち大人はついつい人工的な用具を使って木を固定させようとしてしましますが、子どもたちはそこにある自然物を使って何とかしようと考えていました。できるだけ元々その場所にある自然物を使うようにしましょう。

また、指導者は子どもたちの工夫やアイデアを見逃さず、発見した喜びを分かち合い、いっしょに楽しみましょう。(講師：環境レイカーズ 島川さん)

## 声

### 参加された先生方の

ふりかえり・今後の展開についての検討

大きい石を運ぶ時、声をかけあって協力したり、グループで協力して家をつくったりしていた姿が印象的だった。取り合いをしたり、けんかをしたりする姿は見かけなかった。



遠足でもいいし、家に帰ってからでもいいが、犬上川が琵琶湖までつながっているということを、子どもたちが気づけるようにつなげていくことが大切だ。



ダムづくりで川の中に並べた石の上を歩く遊びをしたが、繰り返して歩くうちに「ドーン・ジャンケン」の遊びに発展していった。一つの遊びが他の遊びへ展開していくプログラムは良いと感じた。

幼児のための自然体験としてだけでなく、一人の人間としても良い方向を示してもらった。この気づきを「花」とするならば、園に持ち帰って実践することで「実」になる。ぜひ園で実らせたい。